

実践ビジョン③ みんなが安心して暮らせる都市づくり

防災・減災の主なハード整備 2億440万1,000円

- 【釧路市役所防災庁舎の開設】
- ・平成27年5月供用開始予定
 - ・防災拠点として機能、複合窓口の開設 など
- 【緊急避難用道路等の整備】
- ・新釧路川左岸通の実施設計
 - ・柳橋通の4車線化 など



新規 消防車両の更新 1億9,928万3,000円

- 高所（ビル火災等）での、より安全な救助を可能にします。
- 【はしご付消防自動車の更新】
- ・これまで30mの高さだった活動範囲が、35mの高さまで拡大
 - ・最新鋭の安全装置が搭載され、より安全な救助が可能に
 - ・はしごの最大作業範囲が広がり、救助のバリエーションが拡充



これら以外にも → 学校施設の耐震化（42億4,343万7,000円）、防災・減災の主なソフト事業（270万5,000千円）^{一部地方創生26補正}、新規 防犯に関する主な取り組み（488万2,000円）など

実践ビジョン④ 世界に開き東北海道をつなぐ戦略的拠点都市

重要港湾釧路港の整備 11億747万5,000円

水深14mの国際バルクターミナルを整備します。

- ・大型船舶による穀物の大量一括輸送を可能とし、安定的で安価な輸送を実現します。

- 【国直轄港湾工事】
- ・国際バルクターミナル整備事業
 - ・第4埠頭建設事業
- 【港湾施設整備・改修事業】
- ・東港区：防波堤、岸壁 など
 - ・西港区：護岸、臨港道路 など



市立釧路総合病院の整備 6億8,732万5,000円

釧路・根室医療圏を支える高度医療、救急医療に対応するため、先端医療の充実を図ります。

- ・内視鏡手術支援用ロボット（ダ・ヴィンチ外科手術システム）の導入 など

広域拠点としての中心市街地の整備

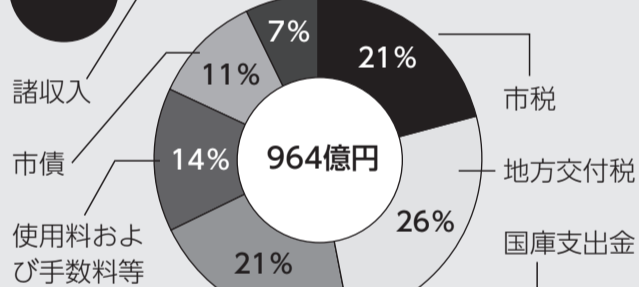
市民の生活環境の向上はもとより、東北海道を支える広域拠点としての役割を果たします。

- 【釧路駅周辺整備の推進】 1,580万1,000円
- 【北大通地区における優良建築物の整備】 2億2,052万7,000円
- 【図書館整備事業（実施設計）】 1,928万8,000円

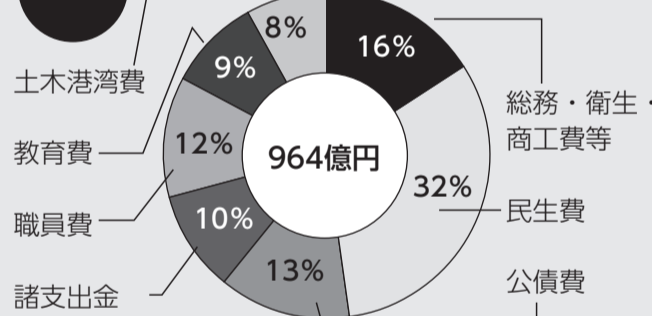
これら以外にも → 釧路空港の利用促進など（6,722万6,000円）、定住自立圏構想の推進（27万円）など

3. 一般会計と特別・企業会計の予算

歳入



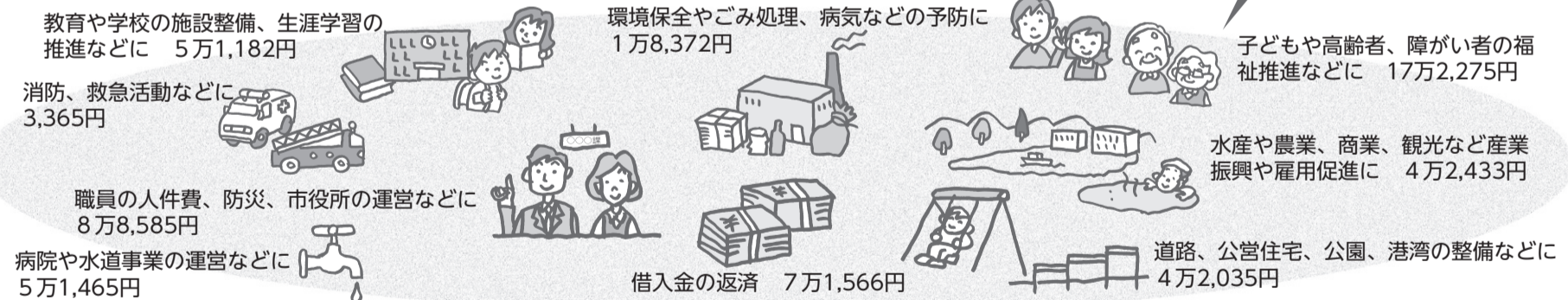
歳出



一般会計 964億円

市民1人あたりの予算 54万1,278円
 (平成27年2月末現在の人口17万8,097人)
 1世帯あたりの予算 101万9,912円
 (平成27年2月末現在の世帯数9万4,518世帯)

使いみちを市民1人あたりに換算すると



特別会計 406億9,545万6,000円

会計名	予算額 (単位：千円)	前年度対比
国民健康保険	22,724,769	9.4
国民健康保険阿寒診療所事業	467,144	△12.9
国民健康保険音別診療所事業	246,165	△1.3
後期高齢者医療	2,263,901	3.5
介護保険 保険事業勘定	14,298,962	△3.9
介護保険 介護サービス事業勘定	122,199	△3.1
農業用簡易水道事業	13,331	68.8
駐車場事業	190,559	3.0
動物園事業	368,426	2.3
合計	40,695,456	

企業会計 401億283万7,000円

会計名	予算額 (単位：千円)	前年度対比
病院事業	17,451,599	△17.2
水道事業	9,853,467	0.2
工業用水道事業	79,772	△3.6
下水道事業	10,840,951	△4.4
公設地方卸売市場事業	117,225	△2.6
市設魚場事業	199,752	△10.6
港湾整備事業	1,560,071	△88.3
合計	40,102,837	

平成27年度市全体の予算 総額1,771億9,829万3,000円